

84プロジェクトとは

森林率84%。高知県は日本一の森林県です。私たち84プロジェクトは、84%の森こそが、もっとも高知の個性であると考え、「はちよん」と笑いを持って呼ぶことで、人と森をつなぐコミュニケーションを深めていこうと、2009年8月4日から活動をしてきました。そうして12年間、小さな林業や森のことなどを楽しく勉強しているうちに時代は変わり、気づけば、日本一の森林率を誇る高知県がローカルSDGsのとっさきに立っているのです。高知県の一番の弱点でもあった森林が、一番の強みになろうとしています。県全体を「はちよん」という親しみの呼称で、森本来の役目・価値をブランディングしていく、木材のブランド力を高めるなど、日本一の森林率を誇る政策に生かしたいと願っています。



特定非営利活動法人 NPO84 はちよんプロジェクト

www.kochi-84project.jp
NPO法人84プロジェクト事務局
高知県高知市上本宮207-1
TEL: 090-7621-5614



1 開会のあいさつ 13:30~13:45

中谷元 衆議院議員

山崎出 馬路村村長

東谷望史 馬路村農協組合長

梅原真 NPO84プロジェクト代表



中谷元 衆議院議員

1957年高知市生まれ。土佐中・土佐高を経て、防衛大学校に進学。1990年2月、第39回総選挙において初当選。以来、連続当選を果たし、10期目。防衛庁長官、防衛大臣、安全保障法制担当大臣、衆議院総務委員長、自由民主党副幹事長などを歴任。

2 基調講演 13:45~15:00

「小さな林業」を実践し、日本各地で指導を行っている中嶋健造さん。馬路村で「ゆず農業」を兼業することで、収入を増やしながら、土砂災害を防止する森林をつくることができる他に、獣害を防止する効果もある「小さな林業」についてくわしく伺います。

「小さな林業の大きな可能性」

地方創生と土砂災害防止のカギ『自伐型林業』
講師：中嶋健造



田中拓美 NPO84プロジェクト事務局長

1948年高知市生まれ。高知県庁に36年間勤務し退職後、地域振興や地域産業の活性化を目指して活動する。四万十市雇用創造促進協議会（事務局長）などに従事し、2020年6月より現職に就任。



山崎出 馬路村村長

1964年うまれ。馬路村魚梁瀬地区出身。馬路村役場職員として32年間勤めたあと、2017年に馬路村副村長に就任。2018年より馬路村村長となる。



東谷望史 馬路村農協組合長

1952年高知県馬路村生まれ。1973年高知県馬路村農協協同組合就職。以来、ゆずの生産加工販売に携わる。現・馬路村農協代表理事組合長。



清岡哲也 馬路村森林組合長

1959年高知県馬路村生まれ。1980年より馬路村森林組合で勤務し、2019年より馬路村森林組合の代表理事組合長に就任。



中嶋健造 NPO自伐型林業推進協会代表

1962年高知生まれ、高知県の町在住。愛媛大学大学院農学研究科修了。2003年、NPO法人「土佐の森・救援隊」設立に参画し、現在理事長。2014年に全国の自伐型林業展開を支援するNPO法人「自伐型林業推進協会」を立ち上げる。



梅原真 NPO84プロジェクト代表

84プロジェクト代表、デザイナー。高知市生まれ。土佐山田在住。「鯉」をはじめとする「漁業」の再生。「ゆず」をはじめとする「農業」の再生。「砂浜美術館」など「地域」の再生。などを手掛けてきた。「土地の力を引き出すデザイン」として、「森林」の再生をめざす。

3 意見交換会 15:00~15:55

馬路村森林組合長・清岡哲也さんや、馬路村農協組合長・東谷望史さんを交えて、馬路村で「小さな林業」を始めるには？「小さな林業」で収入はどうなる？どんな作業を行う？といった具体的な質問や率直な意見を交わしていきます。

司会：田中拓美 NPO84プロジェクト事務局長

山崎出 馬路村村長

東谷望史 馬路村農協組合長

清岡哲也 馬路村森林組合長

中嶋健造 NPO自伐型林業推進協会代表

梅原真 NPO84プロジェクト代表

4 閉会のあいさつ 15:55~16:00

山崎出 馬路村村長

東谷望史 馬路村農協組合長